99	2000	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17		備　考
○							●													枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
					○															
				●		○														
		○													●					
					●		●	○	●		○				●	●	◎			
		●				●							●		●	●		○		
○								●					●							
																				枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
					○						◎									
										●										
																				枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
											●									
																				枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
	○																○			
			○																	
●	○	◎			◎		●	○			●									
							●							○		●				
																				枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
							●													
		○							○				◎					●		
																				地中の有機質を分解する腐生菌
																				スッポンタケ科はきのこの中に胞子を作る
○	○		○	○					○			○								
						○														
	○		○																	
							●													
									●						●					
										○										
																				地中の有機質を分解する腐生菌
			○				●		●								●			
																	○			
																				枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
	○				○	●		○		●						◎				肉がゼラチン質
◎	◎	◎		◎	○		◎	○	◎	●	◎	○	●			◎	○	◎		肉がゼラチン質～軟骨質
																				枯れ木（一部生木）を分解する腐生菌
																●				肉がゼラチン質
																				多くが樹木と共生する菌根菌
									○											
							●													
			●																	
	●																			


ツノツマミタケ
1998/9/20/駒場野公園

No.	種 名	学 名	駒場野公園	駒場公園	（総合）	1995	96	97	98
シロキクラゲ綱(TREMELLOMYCETES)-シロキクラゲ目(TREMELLALES)									
シロキクラゲ科(Tremellaceae)									
206	コガネニカワタケ	*Tremella mesenterica*	1		1				
子のう菌門(ASCOMYCOTA)									
フンタマカビ綱(SORDARIOMYCETES)-ボタンタケ目(HYPOCREALES)									
トウチュウカソウ科(Ophiocordyciptaceae)									
207	オサムシタケ	*Tilachlidiopsis nigra*		8	8				
科未確定(Incertae sedis)									
208	クモタケ	*Nomuraea atypicola*	7	10	11		○		
サナギタケ科(Cordycepitaceae)									
209	ツクツクボウシタケ	*Isaria cicadae*	1		1				
ボタンタケ科(Hypocreaceae)									
210	タケリタケキン	*Hypomyces hyalinus*	1	1	2				
フンタマカビ綱(SORDARIOMYCETES)-クロサイワイタケ目(XYLARIALES)									
クロサイワイタケ科(Xylariaceae)									
211	カノツノタケ	*Xylaria hypoxylon*	1		1				
212	クロコブタケ	*Hypoxylon truncatum*	3		3				
213	チャコブタケ	*Daldinia childiae*	1		1			○	
ズキンタケ綱(LEOTIOMYCETES)-ビョウタケ目(HELOTIALES)									
ビョウタケ科(Helotiaceae)									
214	ビョウタケ	*Bisporella citrina*		1	1				
ズキンタケ科(Leotiaceae)									
215	ズキンタケ	*Leotia lubrica*		1	1				
チャワンタケ綱(PEZIZOMYCETES)-チャワンタケ目(PEZIZALES)									
チャワンタケ科(Pezizaceae)									
216	オオチャワンタケ	*Peziza vesiculosa*		1	1				
ノボリリュウタケ科(Helvellaceae)									
217	ノボリリュウタケ	*Helvella crispa*		1	1				
218	クロノボリリュウタケ	*Helvella lacunosa*	1		1				
219	クロアシボソノボリリュウタケ	*Helvella atra*		1	1				
220	ナガエノチャワンタケ	*Helvella macropus*	1		1				
221	クラガタノボリリュウタケ	*Helvella ephippium*	1		1				
オオゴムタケ科(Sarcosomataceae)									
222	オオゴムタケ	*Galiella celebica*		1	1				
	合計 222種	（確認種数計）	139	177	222	11	17	12	30

「駒場野のキノコ」リストについて

1　調査概要

このリストは、目黒区立駒場野公園及び同駒場公園で、1995年～2017年に『駒場野自然クラブ※』の活動で観察されたキノコの種を分類順に並べたリストです。目黒区全体では種数は増えますが、網羅的な調査は未実施なので、調査が継続されている両公園のものを対象にしました。なお、「目黒区いきもの住民台帳暫定版リスト(2009年7月)」には、区内で258種の菌類が掲載されています。

2　調査地の所在地(当初開園部)と規模

目黒区立駒場野公園　駒場2-19-70　面積3.9ha　旧教育大学農学部跡地等　1986(昭和61)年3月開園

目黒区立駒場公園　駒場4-3-55　面積4.0ha　旧前田家本邸(国指定重要文化財)　1962(昭和42)年都立公園として開園

3　観察会指導・同定

駒場野自然クラブ※活動におけるキノコの観察は大舘一夫氏を講師とした観察・採集を行い、駒場野公園内の自然観察舎内で採取したキノコの分類、同定作業を行っています。同定は、キノコ入門講座代表の大舘一夫氏及びキノコ入門講座スタッフにより行っています。

99	2000	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17		備　考
																				枯れ木(一部生木)を分解する腐生菌
○																				肉がゼラチン質や軟骨質
																				子のうという細胞中に胞子を作る
																				虫の体内で繁殖しきのこが発生する
		●		●		●	●	●	●	●		●								駒場公園でよく見られる冬虫夏草
◎		◎		◎		◎		●		●		◎		◎	●	●				駒場公園でよく見られる冬虫夏草
																				虫の体内で繁殖しきのこが発生する
															○					
		○												●						
																				枯れ木を分解する腐生菌
																		○		
		○									○			○						
																				枯れ木を分解する腐生菌
									●											
									●											
																				多くのきのこが茶碗形や皿形
																				地中の有機質を分解する腐生菌
									●											
																				地中の有機質を分解する腐生菌
										●										
																○				
									●											
			○																	
		○																		
																				枯れ木を分解する腐生菌
					●															
38	33	30	44	38	36	42	46	28	54	50	32	33	27	31	54	45	45	42		

4　分類について
種及び分類群は、分子系統分類に基づき配列してあります。
分類のレベルは、
界(かい)―門(もん)―綱(こう)―目(もく)―科(か)―種(しゅ)
とし、学名※(イタリックで表記)は原則、属名と種小名までとしました。
〈例〉動物界―背索動物門― 哺乳綱 ―霊長目―ヒト科 ―ヒト（学名:*Homo sapiens*）
なお、表中の「科末確定」は、分類が定まってないのものです。
キノコの分類などの研究はまだこれからの部分が多くあります。

クモタケ
2011/7/3/駒場公園

5　表中の記号
○　駒場野公園で観察された種
●　駒場公園で観察された種
◎　駒場野公園、駒場公園の両方の公園で観察された種
1995～2017年の記録回数　記録期間内での観察回数を公園毎、総合(どちらかの公園または両公園で見られたもの)で集計したものです。

3　めぐろで見つけた変形菌（へんけいきん）

● 目黒区の変形菌

(2007/8~2011/7)

No.	種　名	学　名	採集地と採集日
原生動物界(PROTOZOA)ー変形菌門(AMOEBOZOA)ー変形菌綱(MYXOGASTREA)			
ツノホコリ目(Ceratiomyxales)ーツノホコリ科(Ceratiomyxaceae)			
1	ツノホコリ	*Ceratiomyxa fruticulosa*	○駒場野公園2007/08/31(M).
2	ナミウチツノホコリ	*Ceratiomyxa fruticulosa* var. *frexuosa*	○東京大学駒場Ⅰ2010/10/17シダレヤナギ樹皮上(S).
コホコリ目(Liceales)ーアミホコリ科(Cribrariaceae)			
3	アミホコリの一種	*Cribraria* sp.	○駒場公園2008/09/21(M).
コホコリ目(Liceales)ードロホコリ科(Reticulariaceae)			
4	マンジュウドロホコリ	*Reticularia lycoperdon*	○都立林試の森公園2007/10/14(M).
5	ドロホコリの一種	*Reticularia splendens* sp.	○都立林試の森公園2011/07/03(M).
6	マメホコリ	*Lycogala epidendrum*	○駒場公園2008/05/25(M). 2008/09/21(M). ○東京大学駒場Ⅰ2011/06/10坂下門林内(S). 2011/06/19学館前腐木上(S).
ケホコリ目(Trichiales)ーウツボホコリ科(Arcyriaceae)			
7	シロウツボホコリ	*Arcyria cinerea*	○駒場野公園2008/06/21(M). ○東京大学駒場Ⅰ2011/06/09坂下門林内(S). ○駒場野公園2011/06/22(S).
8	ウツボホコリ	*Arcyria denudata*	○都立林試の森公園2011/07/03(M).
9	コウツボホコリ	*Arcyria incarnata*	○駒場野公園2011/06/22(S).
10	キウツボホコリ	*Arcyria obvelata*	○駒場野公園2011/06/22(S).
ケホコリ目(Trichiales)ーケホコリ科(Trichiaceae)			
11	ホソエノヌカホコリ	*Hemitrichia clavata* var. *calyculata*	○都立林試の森公園2007/10/14(M).
12	ヘビヌカホコリ	*Hemitrichia serpula*	○都立林試の森公園2011/07/03(M).
モジホコリ目(Physarales)ーモジホコリ科(Physaraceae)			
13	キフシススホコリ	*Fuligo septica* var. *flava*	○駒場野公園2008/09/07(M). 2009/01/18(M). ○都立林試の森公園2011/07/03(M).
14	チョウチンホコリ	*Physarella oblonga*	○東京大学駒場Ⅰ2010/10/17シダレヤナギ樹皮上(S).
15	ガマグチフクロホコリ	*Physarum bivalve*	○駒場野公園2008/09/07(M).
16	シロジクキモジホコリ	*Physarum melleum*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/04駒場ファカルティ・ハウス前(S). 2011/06/19学館前腐木上(S). ○都立林試の森公園2011/07/03(M).
17	ヘビフクロホコリ	*Physarum serpula*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/13坂下門林内(S).
18	アオモジホコリ	*Physarum viride*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/10坂下門林内(S).
モジホコリ目(Physarales)ーカタホコリ科(Didymiaceae)			
19	ジクホコリ	*Diachea leucopodia*	○都立林試の森公園2007/10/14(M). ○東京大学駒場Ⅰ2011/05/26グラウンド脇倉庫裏(S).
20	ホネホコリ	*Diderma effusum*	○駒場公園2008/5/25(M). ○駒場野公園2008/06/21(M). 2011/06/22(S). ○東京大学駒場Ⅰ2010/10/18駒場ファカルティ・ハウス前(S).
21	バークレイホネホコリ	*Diderma platycarpum* var. *berkelyanum*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/20数理棟横(S).
22	ケカタホコリ	*Didymium floccosum*	○東京大学駒場Ⅰ2011/05/31グラウンド脇(S).
23	ニセコカタホコリ	*Didymium marineri*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/01一二郎池(S).
24	カタホコリ	*Didymium melanospermum*	○東京大学駒場Ⅰ2011/05/31グラウンド脇(S). 2011/06/01一二郎池(S).
25	コカタホコリ	*Didymium minus*	○東京大学駒場Ⅰ2011/05/26駒場ファカルティ・ハウス前(S).
26	アナアキカタホコリ	*Didymium perforatum*	○東京大学駒場Ⅰ2011/05/14ルヴェソンヴェール前(S).

No.	種　名	学　名	採集地と採集日
27	カタホコリの一種	*Didymium* sp.	○都立林試の森公園2007/10/14(M). ○駒場公園2008/05/25(M). ○東京大学駒場Ⅰ2011/05/06グラウンド脇倉庫裏(S). 2011/05/14グラウンド脇倉庫裏(S). 2011/06/01一二郎池(S).
28	シロエノカタホコリ	*Didymium squamulosum*	○東京大学駒場Ⅰ2011/05/02グラウンド脇倉庫裏(S). 2011/05/31グラウンド脇(S). 2011/06/01一二郎池(S).
ムラサキホコリ目(Stemonitales)ームラサキホコリ科(Stemonitaceae)			
29	キンルリホコリ	*Lamproderma scintillas*	○東京大学駒場Ⅰ2011/05/14グラウンド脇倉庫裏(S). 2011/05/26グラウンド脇倉庫裏(S). 2011/05/31グラウンド脇(S).
30	ヤリミダレホコリ	*Stemonaria longa*	○東京大学駒場Ⅰ2010/10/17シダレヤナギ樹皮上(S).
31	ムラサキホコリ	*Stemonitis fusca*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/09学館前腐木上(S).
32	ムラサキホコリの一種	*Stemonitis fusca* sp.	○都立林試の森公園2011/07/03(M).
33	オオムラサキホコリ	*Stemonitis splendens*	○東京大学駒場Ⅰ2011/06/15野球場脇(S).
34	ハダカコムラサキホコリ	*Stemonitis typhina* var. *similis*	○駒場野公園2011/06/22(S).

採集者 (M):増井 真那・祐子 (S):佐藤 拓 〔敬称略〕

● 知られざる変形菌(へんけいきん)の世界

変形菌は、粘菌(ねんきん)ともよばれ、枯れ木の上などをアメーバのように移動する不思議ないきものです。キノコのように胞子をつくりますが、単細胞生物で、動物や植物、キノコとは別のいきもの(アメーボゾア)に分類されています。見られる場所は主に森の中で、落ち葉や朽ち木の上で生活する種類が多く、分解者であるバクテリアやカビを食べることで、落ち葉や朽ち木の分解の速度を抑制し、森全体の生態系のバランスを保つ役割を担っていると考えられています。

変形菌は、かつては深い森のいきものと思われてきましたが、街の公園などにも見られるいきものであることがわかってきました。変形菌の魅力は、種類によってさまざまな色や形をしていることです。目を凝らして探してみると、意外と身近な場所で変形菌を見つけることができるかもしれません。

リストや写真は、駒場野公園の自然クラブ※事業に参加をいただいていた増井祐子・真那さん親子、東京大学学生(当時)の佐藤 拓さん(いずれも日本変形菌研究会会員)の観察によるものです。


ヘビヌカホコリ(2011/7/3/林試の森公園)


アミホコリの仲間(2008/9/21/駒場野公園)


シロジクキモジホコリ(2011/7/3/林試の森公園)


ホネホコリ(2008/5/25/駒場公園)

4　目黒区の地表性昆虫とベイトトラップ

昆虫のいるところ

チョウ、バッタ、トンボ、セミ、カブトムシなど、昆虫はさまざまな場所に暮らしています。かつての目黒区には畑や雑木林が各所にあって、昆虫たちの暮らしの場所も多様でした。家が立ち並ぶ現在は、むかしながらの多様な環境は少なくなりましたが、それでも公園や庭、社寺や学校には、まだまだたくさんの虫たちを見ることができます。また、建物の屋上には新しい緑地が生まれ、多くの昆虫類が飛来して、そこで活動しています。

地表で生活している昆虫たち

皆さんは『糞虫』を知っていますか。ファーブル昆虫記では、『フンコロガシ』として登場する虫も『糞虫』のなかまです。幼虫などが糞を食べて成長し、糞を細かく分解することから、この本のテーマである「土を作る生物」の一員です。この糞虫など、地面を歩きまわる昆虫類を『地表性昆虫』といっています。

地表性昆虫は地表を主な活動場所としていて、多くの種類が他の昆虫類や小動物(ミミズ類)や動物の糞や死骸を餌として食べています。普段はあまり目立つ存在ではありませんが自然界における分解者としての役割はとても重要です。活動時間が夜であったりする種類も多く、普段は、あまり見ることはありません。

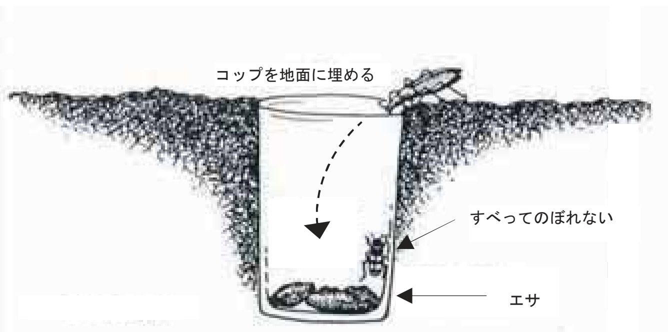


図 11　ベイトトラップ調査法

地表性昆虫を知るために

これらの昆虫類を調べるためには、コップに餌を入れて、夜間、地表を歩き回る昆虫類を落とし込む方法(ベイトトラップ調査法)で捕獲できます(図 11)。

昆虫によってコップに入れるエサは少しずつ違いますが、黒砂糖、酒、酢を混ぜたものを餌としてよく使います。甘くて、強い匂いが好きなようです。

飛ぶことのできないアオオサムシ(2011/4/17 林試の森公園)

ベイトトラップにはどのような昆虫が落ち込むのか調べてみると、アオオサムシ、オオヒラタシデムシ、センチコガネ、ヒゲジロハサミムシ、ツチカメムシ、ハラオカメコオロギ、クロオオアリなど多くの種類が見つかります。

コップに落ちた虫の様子

図 12　落ち葉ンク※やそだ※置き場でも、地表性昆虫や土壌生物（どじょうせいぶつ）が土づくりに活躍

雪隠（せっちん＝汲み取り式便所）が名前の由来といわれるセンチコガネ。糞（ふん）に飛来することから（2011/4/15 駒場野公園）

犬の落し物に飛来していたクロマルエンマコガネ
（2009/4/5 中根公園）

目黒区の調査でも、リスト（P.34,35）にありますように、たくさんの種類が公園や社寺、住宅地、落ち葉ンク※やそだ※置き場（図 12）にも見られます。

民家の庭などの植え込みの根際（ねぎわ）のわずかな土壌にもヒメアカセスジハネカクシ、クロマルエンマコガネなどが確認されています。これはペット（犬、猫）の糞（ふん）を餌（えさ）として昆虫類が巧（たく）みに生きている証です。

地表性昆虫類の中にはアオオサムシやマイマイカブリのように後ろ羽が退化して飛ぶことができない種類も多く、移動手段は歩くだけです。急激な環境改変（かんきょうかいへん）には適応できないので、街の中の地面の面積をできるだけ残しつなげていくことができれば、これらの昆虫類も将来も見ることができるでしょう。

山口　就平

（一財）進化生物学研究所　昆虫研究室

● 織田 一磨※ 著　「武蔵野（むさしの）の記録」から　（引用部分抜粋）

『武蔵野の生態…武蔵野の生命は永遠である。生活は永遠に續くのである。一度醜悪にされた容貌でも、直ちに旧態に復帰しうるだけの力は常に潜在してゐる。…（中略）コンクリートの道路になって、暑気は激しくなるとも、雨を降らせる術は忘れないと思ふ。雑草雑木は無くなって淋しくなるが、夕暮れのスコールは涼風を贈る。鳥も蟲もいなくなるし、花も咲かないが、道路のすみや、家の横手には雑草雑木の芽が出せる餘地を残すことを考へたい。…斯くすることによって、人の生活に武蔵野は喜んで協力を惜しまないと信じられる。たゞ人の心の余裕が欲しいのだ。武蔵野を愛するといふ余裕だ…これを救ふ道は我々に只一ツ残されてゐる。それは武蔵野を何時までも愛する事だ。たゞこれだけのことだ。如何に変貌するとも、変わらぬ愛をもって、人は同情を表はすことだ。人にこれだけの心の余裕さへあれば、彼は永遠に平和な生態を続けるのである…』　（有峰書店新社刊）

● ベイトトラップ調査により記録された昆虫リスト

No.	分類・種名	学名	最新の記録
	動物界(ANIMALIA)-節足(せっそく)動物門(ARTHROPODA)-昆虫綱(INSECTA)		
	ゴキブリ目(Blattaria)-ゴキブリ科(Blattidae)		
1	クロゴキブリ	*Periplaneta fuliginosa*	2010年10月15日 駒場2－19(駒場野公園)
	コウチュウ目(Coleoptera)-オサムシ科(Carabidae)		
2	ニセマルガタゴミムシ	*Amara congrua*	1983年6月24日 青葉台2－10(西郷山公園)
3	ナガマルガタゴミムシ	*Amara macronota*	1982年4月18日 駒場2－19(駒場野公園)
4	ホシボシゴミムシ	*Anisodactylus punctatipennis*	1982年7月13日 八雲5－12
5	アオオサムシ	*Carabus insulicola*	2013年10月23日 下目黒5－37(東京都立林試の森公園)
6	ヒメキベリアオゴミムシ	*Chlaenius inops*	1982年4月24日 駒場2－19(駒場野公園)
7	オオアトボシアオゴミムシ	*Chlaenius micans*	1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
8	アトワアオゴミムシ	*Chlaenius virgulifer*	2013年8月28日 駒場2－19(駒場野公園)
9	ハラアカモリヒラタゴミムシ	*Colpodes japonicus*	1982年4月21日 駒場2－19(駒場野公園)
10	ヒメマイマイカブリ	*Damaster blaptoides oxuroides*	［東京都区部:準絶滅危惧］1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
11	オオスナハラゴミムシ	*Diplocheila zeelandica*	1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
12	セアカヒラタゴミムシ	*Dolichus halensis*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場ＩキャンパKス)
13	ホソアトキリゴミムシ	*Dromius prolixus*	2013年5月15日 青葉台2－11(菅刈公園)
14	ケウスゴモクムシ	*Harpalus griseus*	1982年7月21日 柿の木坂2－29(柿の木坂児童遊園)
15	ヒメケゴモクムシ	*Harpalus jureceki*	2010年8月26日 中目黒2－2(中目黒公園)
16	クロゴモクムシ	*Harpalus niigatanus*	2010年8月26日 中目黒2－2(中目黒公園)
17	ウスアカクロゴモクムシ	*Harpalus sinicus*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ｉキャンパス)
18	アカアシマルガタゴモクムシ	*Harpalus tinctulus*	1982年7月13日 八雲5－12
19	コゴモクムシ	*Harpalus tridens*	1982年7月11日 駒場4－3(駒場公園)
20	クロヘリアトキリゴミムシ	*Parena nigrolineata*	1983年5月17日 碑文谷4－5
21	キアシヌレチゴミムシ	*Patrobus flavipes*	1982年10月24日 駒場2－19(駒場野公園)
22	オオヒラタゴミムシ	*Platynus magnus*	2013年5月15日 駒場4－3(駒場公園)
23	コガシラナガゴミムシ	*Pterostichus microcephalus*	1979年10月－日 駒場2－19(駒場野公園)
24	ヒメホソナガゴミムシ	*Pterostichus rotundangulus*	1982年4月21日 駒場2－19(駒場野公園)
25	マルガタツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus arcuaticollis*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
26	クロツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus cycloderus*	2014年10月9日 駒場4－3
27	ヒメツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus dulcigradus*	2013年10月23日 下目黒5－37(東京都立林試の森公園)
28	ヒラタキイロチビゴミムシ	*Trechus ephippiatus*	1982年10月24日 駒場2－19(駒場野公園)
29	オオイクビツヤゴモクムシ	*Trichotichnus nipponicus*	［東京都区部:準絶滅危惧］1983年6月24日 青葉台2－10(西郷山公園)
	エンマムシ科(Histeridae)		
30	コエンマムシ	*Margarinotus niponicus*	1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
	シデムシ科(Silphidae)		
31	オオヒラタシデムシ	*Eusilpha japonica*	2013年8月28日 駒場4－3(駒場公園)
	ハネカクシ科(Staphylinidae)		
32	ルイスセスジハネカクシ	*Anotylus lewisius*	2013年10月23日 碑文谷6－9(碑文谷公園)
33	セスジハネカクシ属の1種	*Anotylus* sp.	2013年10月23日 碑文谷6－9(碑文谷公園)
34	チビハネカクシ属の1種	*Atheta* sp.	2013年10月23日 碑文谷3－11(すずめのお宿緑地公園)
35	キンバネハネカクシ	*Ocypus gloriosus*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ｉキャンパス)
36	クロサビイロハネカクシ	*Ocypus lewisius*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ｉキャンパス)
37	ヒメアカセスジハネカクシ	*Oxytelus migrator*	2012年9月13日 柿の木坂2－10
38	ゴミコガシラハネカクシ	*Philonthus minutus*	1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
39	クロガネハネカクシ	*Platydracus inornatus*	［東京都区部:絶滅危惧Ⅱ類］2013年5月15日 駒場2－19(駒場野公園)
40	アカバハネカクシ	*Platydracus paganus*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
41	チャイロツヤムネハネカクシ	*Quedius adustus*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ｉキャンパス)
	クワガタムシ科(Lucanidae)		
42	コクワガタ	*Macrodorcas rectus*	2010年10月15日 駒場2－19(駒場野公園)
	センチコガネ科(Geotrupidae)		
43	センチコガネ	*Phelotrupes laevistriatus*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
	コガネムシ科(Scarabaeidae)		
44	マエカドコエンマコガネ	*Caccobius jessoensis*	［東京都区部:情報不足］1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
45	コクロコガネ	*Holotrichia picea*	2013年5月15日 駒場4－3(駒場公園)
46	ビロウドコガネ	*Maladera japonica*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ｉキャンパス)
47	マルガタビロウドコガネ	*Maladera secreta*	2010年8月26日 中目黒2－2(中目黒公園)
48	クロマルエンマコガネ	*Onthophagus ater*	2013年8月28日 駒場4－3(駒場公園)
49	コブマルエンマコガネ	*Onthophagus atripennis*	1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
50	ツヤエンマコガネ	*Onthophagus nitidus*	1983年7月15日 下目黒5－37(東京都立林試の森公園)
	コメツキムシ科(Elateridae)		
51	サビキコリ	*Agrypnus binodulus*	2014年9月18日 駒場2－19(駒場野公園)
52	コガタヒメサビキコリ	*Agrypnus hypnicola*	1982年10月15日 下目黒5－37(東京都立林試の森公園)
	ケシキスイ科(Nitidulidae)		
53	ケシキスイ科の1種	Nitidulidae gen. sp.	2013年8月28日 駒場2－19(駒場野公園)
54	ヒラタケシキスイ属の1種	*Epuraea* sp.	2013年10月23日 碑文谷6－9(碑文谷公園)
55	モンチビヒラタケシキスイ	*Haptoncus ocularis*	2013年10月23日 中根2－6(中根公園)
56	コクロヒラタケシキスイ	*Ipidia sibirica*	2012年9月13日 大岡山2－10(東京工業大学)
57	アカマダラケシキスイ	*Lasiodactylus pictus*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
58	チビヒラタケシキスイ属の1種	*Maptoncus* sp.	2012年9月13日 柿の木坂2－10
59	ヘリグロヒラタケシキスイ	*Omosita discoidea*	1982年11月4日 上目黒
60	マルキマダラケシキスイ	*Stelidota multiguttata*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
	ゴミムシダマシ科(Tenebrionidae)		
61	スナゴミムシダマシ	*Gonocephalum japonum*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ｉキャンパス)
62	ヒゲブトハムシダマシ	*Luprops orientalis*	2012年9月13日 柿の木坂1－16

No.	分 類 ・ 種 名	学 名	最新の記録
	ゾウムシ科(Curculionidae)		
63	ウスモンカレキゾウムシ	*Acicnemis palliata*	2014年9月18日 駒場2－19(駒場野公園)
64	ホソヒメカタゾウムシ	*Asphalmus japonicus*	2013年5月15日 青葉台2－11(菅刈公園)
65	ヤサイゾウムシ	*Listroderes costirostris*	2010年10月15日 駒場2－19(駒場野公園)
66	ヒサゴクチカクシゾウムシ	*Simulatacalles simulator*	2013年8月28日 駒場4－3(駒場公園)
	ハサミムシ目(Dermaptera)－ハサミムシ科(Anisolabididae)		
67	ハマベハサミムシ	*Anisolabis maritima*	1983年7月15日 下目黒5－37(東京都立林試の森公園)
68	ヒゲジロハサミムシ	*Gonolabis marginalis*	2014年10月9日 駒場4－3
	ハエ目(Diptera)－ベッコウバエ科(Dryomyzidae)		
69	ベッコウバエ	*Dryomyza formosa*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
	フンバエ科(Scathophagidae)		
70	ヒメフンバエ	*Scatophaga stercoraria*	2014年10月9日 駒場4－3
	カメムシ目(Hemiptera)－サシガメ科(Reduviidae)		
71	モモブトトビイロサシガメ	*Oncocephalus femoratus*	2013年8月28日 駒場4－3(駒場公園)
	ナガカメムシ科(Lygaeidae)		
72	オオモンシロナガカメムシ	*Metochus abbreviatus*	2014年9月18日 駒場2－19(駒場野公園)
73	コバネヒョウタンナガカメムシ	*Togo hemipterus*	2010年8月26日 中目黒2－2(中目黒公園)
	ホシカメムシ科(Pyrrhocoridae)		
74	フタモンホシカメムシ	*Pyrrhocoris sibiricus*	2010年8月26日 中目黒2－2(中目黒公園)
	オオホシカメムシ科(Largidae)		
75	ヒメホシカメムシ	*Physopelta cincticillis*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ⅰキャンパス)
	ツチカメムシ科(Cydnidae)		
76	ヨコヅナツチカメムシ	*Adrisa magna*	1982年4月17日 碑文谷3－11(すずめのお宿緑地公園)
77	チビツチカメムシ	*Chilocoris confusus*	1982年5月28日 下目黒5－37(東京都立林試の森公園)
78	コツチカメムシ	*Macroscytus fraterculus*	1982年10月27日 中根2－6(中根公園)
79	ツチカメムシ	*Macroscytus japonensis*	2014年9月18日 駒場2－19(駒場野公園)
80	シロヘリツチカメムシ	*Sehirus niveimarginatus*	[国:準絶滅危惧] 1982年4月23日 目黒区内
81	ミツボシツチカメムシ	*Sehirus trigutulus*	1982年4月18日 駒場2－19(駒場野公園)
	ハチ目(Hymenoptera)－ツチバチ科(Scoliidae)		
82	オオハラナガツチバチ	*Megacampsomeris grossa*	2014年10月9日 駒場4－3
	アリ科(Formicidae)		
83	アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*	1980年代(昭和60年頃) 青葉台2－10(西郷山公園)
84	オオハリアリ	*Brachyponera chinensis*	2013年8月28日 駒場2－19(駒場野公園)
85	クロオオアリ	*Camponotus japonicus*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
86	ウメマツオオアリ	*Camponotus vitiosus*	2013年10月23日 中根2－6(中根公園)
87	トビイロシリアゲアリ	*Crematogaster laboriosa*	1982年7月21日 碑文谷4－5
88	キイロシリアゲアリ	*Crematogaster osakaensis*	2014年9月18日 駒場2－19(駒場野公園)
89	クロヤマアリ	*Formica japonica*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
90	クロクサアリ	*Lasius fuliginosus*	1982年7月13日 八雲5－12
91	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	2014年7月15日 駒場2－19(駒場野公園)
92	アメイロケアリ	*Lasius umbratus*	2013年5月15日 駒場2－19(駒場野公園)
93	クロナガアリ	*Messor aciculatum*	1982年10月24日 駒場2－19(駒場野公園)
94	ヒメアリ	*Monomorium nipponense*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ⅰキャンパス)
95	キイロヒメアリ	*Monomorium triviale*	2013年10月23日 中根2－6(中根公園)
96	アメイロアリ	*Paratrechina flavipes*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
97	サクラアリ	*Paratrechina sakurae*	2012年9月13日 上目黒4－34
98	アズマオオズアリ	*Pheidole fervida*	2014年9月18日 駒場2－19(駒場野公園)
99	オオズアカアリ	*Pheidole nodus*	2013年8月28日 青葉台2－11(菅刈公園)
100	テラニシハリアリ	*Ponera scabra*	1982年7月21日 碑文谷4－5
101	アミメアリ	*Pristomyrmex pungens*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
102	トフシアリ	*Solenopsis japonica*	2012年9月13日 柿の木坂1－16
103	ウロコアリ	*Strumigenys lewisi*	2012年9月13日 駒場3－8(東京大学駒場Ⅰキャンパス)
104	トビイロシワアリ	*Tetramorium tsushimae*	2014年7月15日 駒場2－19(駒場野公園)
	スズメバチ科(Vespidae)		
105	クロスズメバチ	*Vespula lewisi*	2014年10月9日 駒場4－3
	バッタ目(Orthoptera)－カマドウマ科(Rhaphidophoridae)		
106	カマドウマ	*Diestrammena apicalis*	1982年7月30日 洗足2－28(洗足二丁目児童遊園)
107	クラズミウマ	*Tachycines asynamorus*	1982年7月30日 原町
	ケラ科(Gryllotalpidae)		
108	ケラ	*Gryllotalpa africana Beauvois*	1980年9月5日 駒場2－19(駒場野公園)
	コオロギ科(Gryllidae)		
109	ハラオカメコオロギ	*Loxoblemmus compestris*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
110	オカメコオロギ属の1種	*Loxoblemmus* sp.	1982年10月22日 東が丘
111	ヒゲシロスズ	*Polionemobius flavoantennalis*	[東京都区部:情報不足] 2010年10月15日 駒場2－19(駒場野公園)
112	シバスズ	*Pteronemobius mikado*	2010年10月15日 中目黒2－2(中目黒公園)
113	マダラスズ	*Pteronemobius nigrofasciatus*	2010年10月15日 駒場2－19(駒場野公園)
114	ヤチスズ	*Pteronemobius ohmachii*	[東京都区部:情報不足] 2014年7月15日 駒場2－19(駒場野公園)
115	ツヅレサセコオロギ	*Velarifictorus mikado*	2014年10月10日 駒場4－3(駒場公園)
	アリツカコオロギ科(Myrmecophilidae)		
116	アリツカコオロギ	*Myrmecophilus sapporensis*	1982年7月21日 碑文谷6－9(碑文谷公園)
	ヒシバッタ科(Tetrigidae)		
117	ハラヒシバッタ	*Tetrix japonica*	2010年8月26日 中目黒2－2(中目黒公園)

土をめぐるいきものの主のようなヒキガエル。
「ガマ」とも呼ばれ親しまれています。

公園の池で出会う（2017/2/24/菅刈公園）

5　土の番人？　夜の庭の主“ヒキガエル”

ガマ博士とシジュウカラさんが語る

目黒区の「ガマ」

わっ！びっくりした！ガマ博士、
こんな遅い時間にどうしたの！？

びっくりさせてしまってすまんのう。ヒキガエルは夜行性なんじゃ。ところで、シジュウカラさんは、最近目黒区でヒキガエルの数が減っているのを知っているかの？

そうなの！？知らなかったよ。
どうして？

普段住んでいる土の面が減ったり、すみかが道や塀（へい）で分断されたり、産卵する池が少なくなったりなど原因はいろいろあるようじゃ。東京都区部では「準絶滅危惧種」に指定されているんじゃよ

ガマ博士、仲間が少なくなって寂しいね。ヒキガエルを呼び戻すにはどうすれば良いのかな？

緊急ガマ調査の内容

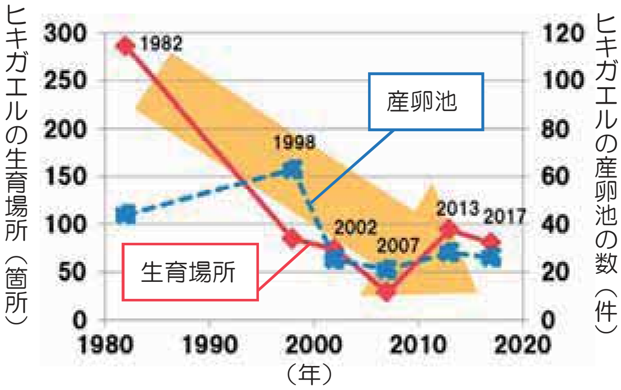
目黒区は､2017年の１月から９月にかけて、目黒区内におけるヒキガエルの生息場所と産卵池の情報を、区民を中心に募集しました。観察情報 124 件、産卵池 26 件の情報とメッセージが寄せられました。

ヒキガエルへのメッセージ

数１０年前庭に大きなヒキガエルがいましたが、ここ数年は見かけませんでした。最近夜に庭を観察している時、小さなヒキガエルが生息していることに気付き、写真を撮りました　(2017/9/8)

（五本木１丁目自然通信員）

自宅の塀の柵の下にヒキガエルがいました。２０１３年６月にも同じ場所にいました。同じヒキガエルかどうかはわかりませんが、
４年ぶりに出会えて
嬉しく思いました
(2017/7/18)
（大岡山１丁目自然通信員）



1982 年から 2017 年にかけての
ヒキガエルの生育場所と産卵池の数

庭にプラスチック池があります。春に、オス１匹、メス２匹やって来て、雨ごとに３回くらい産卵しました。たらい程度の池ですがカエルのお役にたてて嬉しいです（中目黒４丁目自然通信員）


やはりヒキガエルの数や産卵池の数は年々減っているの。駒場、自由が丘、目黒川周辺などでは特に住宅地での減少などが要因となっているのかもしれないの


グラフから生育場所、産卵池ともに年々減っているのが分かるね

調　査　結　果

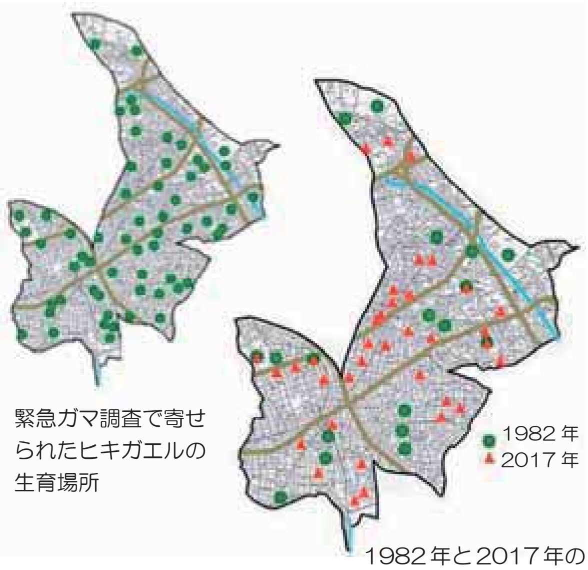
今回の調査では、駒場、自由が丘、目黒川周辺などで産卵池が減少していることが分かりました。１９８２年と２０１７年を比べると、生育場所は約３分の１、産卵池は約２分の１になっています。


ヒキガエルは食物連鎖※という観点で土をめぐるいきものの頂点に立つ“土の番人”ともいえるいきものなんじゃよ。ヒキガエルが住んでいるということは、餌となる虫などのいきものがすんでいたり、産卵できる水辺環境があったりと、その場所が豊かな環境であるということを示しているんじゃ


ヒキガエルがいつまでも住める豊かな環境を作っていきたいね


そのとおりじゃな。ヒキガエルは、お庭にある小さな池でも産卵することができるんじゃ！


土の面をできるだけ残すなどしつつ、１人１人の取り組みからヒキガエルを呼び戻そう！



緊急ガマ調査で寄せられたヒキガエルの生育場所

1982 年と 2017 年の産卵池の場所

目黒区みどりと公園課

※図やグラフは区民・自然通信員からの情報を基に作成

(写真提供：自然通信員※)

●用語説明　（［区］は区の事業をあらわす）

（頁）

あ

いきもの発見隊　（表２，８）
（いきものはっけんたい）
イベント型住民参加調査。親子などの参加者が身近ないきものを探して記録し、自然の大切さや街に自然を呼び戻す工夫を考える　［区］

エコロジカルネットワーク　（表２）
（えころじかるねっとわーく）
散在する緑地を緑道や街路樹でつなぎ、いきものがすみ、移動できる緑地を効果的に配置した緑地のネットワーク（目黒区生物多様性地域戦略より）

織田一磨　（1，33）
（おだかずま）
明治～昭和期の版画家。著書に挿絵入り随筆集「武蔵野の記録」がある

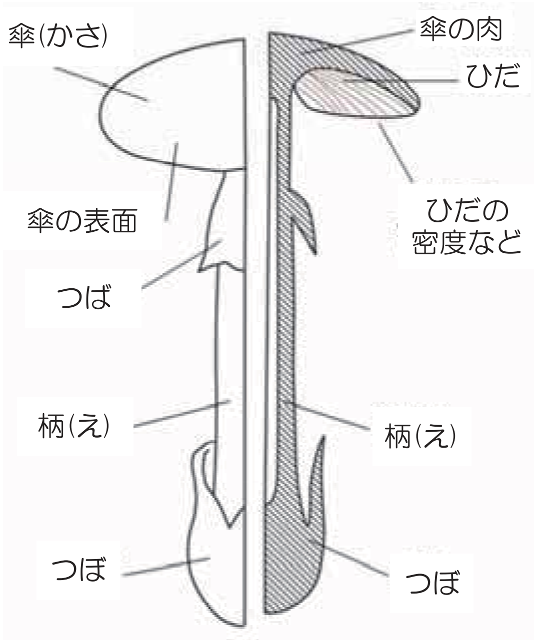
落ち葉ンク　（33）
（おちばんく）
造語。公園や小学校、保存樹林等に設置している落ち葉だめ。落ち葉を預けて土（腐葉土）を引き出すの意。「落ち葉をごみにしない」という考え方。学習活動として落ち葉等を腐葉土にするための切り返し作業を行う中で、ミミズやダンゴムシ、カブトムシの幼虫といった土をつくるいきものたちとの出会いがある。できた腐葉土は、花壇や畑などで利用　［区］

か

環境カウンセラー　（1）
（かんきょうかうんせらー）
環境省が実施している登録制度。市民･NGO･事業者などの行う環境保全活動に対し助言など（＝環境カウンセリング）を行う（環境省 HP）

学名　（18-29,30-31,34-35）
（がくめい）
世界共通の種名や分類を表すラテン語。なお、分類についてはまだ研究が進んでないものがある（本冊子のリストに掲載されているもののなかでも、変更されているもの、今後変更されるものもありますので、ご留意ください）

きのこのからだ　（12,13）
（きのこのからだ）



公園活動登録団体　（表 2,1）
（こうえんかつどうとうろくだんたい）
公園の清掃・花壇管理等の維持管理活動や、地域住民を対象としたイベント企画運営活動を行うボランティア活動団体。「住民参加による公園活性化のための要綱」（2001（平成 13）年２月要綱制定）により区が登録し、区は一定の支援を行う　［区］

駒場野自然クラブ　（表 2,17,28,31）
（こまばのしぜんくらぶ）
駒場野公園の貴重な自然を地域の方の参加により守り伝える活動で、駒場野公園が開園した昭和 61 年から続いている。駒場野公園の雑木林管理や自然観察などの活動を年間を通して行い、身近な自然とのふれあいやいきものとの出会い、草刈りや炭焼きなどの作業が子どもたちの貴重な原体験や学習の場となっている　［区］

さ

里山　（1）
（さとやま）
人里近くにあって、人々の生活と結びついた山・森林（雑木林等）

自然通信員 (表 2,37)
(しぜんつうしんいん)
身近な自然の観察記録を区に報告するボランティア。記録は生物季節や経年変化の把握などに活かされている［区］

食物連鎖 (37)
(しょくもつれんさ)
「食べる、食べられる」という捕食関係に着目して、生物種の間における関係を表す概念。エネルギーを利用し、無機物から炭水化物などの有機物を作り出す植物などの「生産者」、生産者により作られた有機物を栄養源とする動物などの「消費者」、生産者や消費者の死骸や排泄物を無機物に分解する細菌などの「分解者」の関係をあらわす

生物多様性 (表 2,2)
(せいぶつたようせい)
さまざまな「自然」が、そこに特有の「個性」をもついきものがいて、それぞれの命がつながりあっていること。食料や水の供給、気温等の安定、水質の浄化、私たち人間へのうるおいや安らぎの付与などの「生態系サービス」と呼ばれる「自然の恵み」は生物多様性のバランスの上に成立している

生物多様性地域戦略 (表 2)
(せいぶつたようせいちいきせんりゃく)
生物多様性基本法第１３条に基づき、自治体が策定する生物多様性の保全に関する基本的な計画。目黒区では自然と共生する社会を目指し「目黒区生物多様性地域戦略　ささえあう生命の輪　野鳥のすめるまちづくり計画」を策定している

生物多様性保全林 (1)
(せいぶつたようせいほぜんりん)
公園や公共施設等で、永続性がある一定規模以上の緑地についてエリアを位置づけ、いきものの生息拠点となるよう保全を図るもの。保全にあたっては地域の活動等と連携する　［区］

そだ (33)
(そだ)
粗朶(そだ)は、切り取った木の枝のこと。公園などでは、そだを用いた園路柵(そだ柵)や、剪定した枝を林内で自然に返す「そだ置き場」などが住民活動で作られている。小動物のすみかになっている

た

堆肥化 (1)
(たいひか)
人の手によって土壌生物の生活しやすい環境を整え、土壌生物がごみなどの有機物を分解し、堆肥を作ること。分解は主に微生物によって行われる。目黒区では区立駒場野公園で公園活動登録団体「りぼんクラブ」が堆肥作りの活動を行っている

定点観測員 (表 2)
(ていてんかんそくいん)
自然通信員のうち、公園や庭など身近な場所を観測地として、開花日、野鳥などの初鳴き日、所見日など四季の変化を継続的に観察するボランティア　［区］

冬虫夏草 (12,13)
(とうちゅうかそう)
オサムシタケ、クモタケなどの昆虫やクモ、キノコに寄生する子のう菌のきのこ。冬は虫の姿なのに、夏は草(きのこ)のようになる、という意味。狭い意味では、中国西南部を原産地とするコウモリガの幼虫に寄生するもので、『冬虫夏草』の名の漢方薬として利用されている

ま

みどりの実態調査 (表 2)
(みどりのじったいちょうさ)
目黒区みどりの条例に基づき、定期的に実施する区内の緑の実態に関する調査。昭和 47(1972)年度、52(1977)年度、60(1985)年度、平成 4(1992)年度、16(2004)年度、26(2014)年度に実施している[区]

武蔵野台地 (1)
(むさしのだいち)
関東山地の東麓(山の東側のふもと)に広がる洪積台地(洪積層からなる平坦な堆積面が開析されて台地化したもの)。北は入間川、東は荒川、西は多摩川、南は東京湾周辺の山手地区までの範囲を占める

ら

緑被率 (表 2,1)
(りょくひりつ)
上空から見て、樹幹や草地などみどりで覆われた面積が占める割合